

MISAKI

KOKUBU CHUO HOSPITAL  NEWS

vol.7

霧島市民に必要とされる施設
美崎会 活動 情報誌

国分中央病院

高齢者在宅救急



FREE

ご自由に
お取りください

救急救命士と特定看護師

[病院長] 福永 秀敏 Hidetoshi Fukunaga

南日本新聞日曜日の生活欄「すいもあまいも(373 相談室)」の回答者の一人になって、この4月で6年目を迎える。「すいもあまいもかみわける」という言葉の意味は「人生経験を積み、人情に精通し、世の中の裏も表も知り尽くしていることのたとえ」だが、齢だけは重ねているが「世の中の裏も表も知り尽くしている」にはほど遠い。家内からは「家の相談には見向きもしないのに人様(ひとさま)の相談に乗れるの」と皮肉たっぷりの嫌味を言われている。

また県の難病相談・支援センターでは主に難病の相談を受けている。相談の内容は多岐にわたり、頭を抱えながら適切な回答を用意できないことが多い。そもそも人それぞれ置かれた状況も考え方は違う訳で、正しい答えというものはありません。「こういう考えもある」というような示唆はできても、最終的には自分で考えて行動するより他ないわけである。

昨年末、大牟田の消印のある一人の女性から手紙をもらった。見覚えはないが、手紙には「平成13年に稲元看護師長(南九州病院)に連れられ、先生の診察を受けたパーキンソン病患者(国立病院機構の師長さん)の一人でございます」で始まっている。「先生のご意見に従い手術を実施しました。手術前は大変悩みましたが、結果良かったと大変感謝しております」。最後に「現在81歳となりました。加齢とともに身体の弱みが出ております。今年はコロナ禍で自粛生活を強いられておりますが、この際、自分の病気をまとめる良い機会と思って書き始めました」

読み進むうちにおぼろげながら思い出したが、この方の場合、結果オーライとなったようで何よりである。セカンドオピニオンがうまくいったということかな。

しばらく前のことになるが、60代半ばのパーキンソン病のご婦人が熊本から友人の運転する車で受診され、しばらくしてから手紙をもらった。

「通院できない距離から一度きりの診察に訪ねて来ることに、あるいはドクターショッピングかとお不快に感じられるのではと恐れています。私は自分の主治医の先生を、患者思いのやさしい先生と思っておりますので、決して信頼していない訳ではありません。ただどちらかといえば寡黙な方で、患者の訴えはよく聞いて下さっているのですが、尋ねられることが少なく、進行しているときは正直なところ『私の病変に関心ありや?』と心細くなる時があります。コミュニケーションの問題ですね。ただ患者とお医者様とはどうしても同じになれない点があり、それはお互いの理解が必要であろうと思います。患者当人にとっては歩けなくなったという事でも、お医者様は日常的に死の床に居る人と向き合っているわけですから、患者の病状は相対化してみるのが当然であろうと思います。通知票の絶対評価と相対評価のように、主観と客観の温度差があることを不信の理由にしてはならないと思います・・・」

この方は若いころに雑誌の編集の仕事にたずさわっておられたということで、物の見方が辛辣である。確かに医師にとっては目の前の患者さんは、たくさんの患者さんのうちの一人であるが、患者さんから見ると主治医は絶対的な存在なのである。ともすれば医師は相対評価に陥りやすいので、この患者さんの悩みを真正面から受け止めなければならぬと思うことである。

健康診断

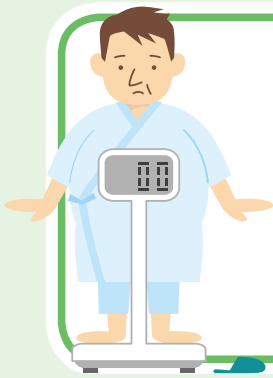
健康診断室
看護師
鳥濱 由佳



を受けていますか？

◆健康診断はなぜ必要か…

メタボリックシンドロームとは、内臓脂肪蓄積を基盤として血圧や血糖・脂質代謝異常を引き起こす病態と考えられています。



メタボリック シンドロームが 原因となり…

生活習慣病と言われる肥満症や高血圧症、糖尿病、高脂血症、高尿酸血症になることが多いと考えられます。
また、これらの病気は、早期には自覚症状がないことが多いです。そこで、早いうちから内臓脂肪の蓄積の改善や食べ過ぎや運動不足を解消する生活習慣の見直しで、健康を取り戻すことが可能となります。



◆その為に…

健康管理の一環として、まずは現在の身体に異常がないかチェックし、前向きに改善していく心がけが大切だと思います。健診を受けることで、しっかり自分の身体と向き合う大切なきっかけとして下さい。

皆様の健康維持や早期治療の懸け橋となれるよう、サポートしていきたいと思います。

◆当院での健診内容

人間ドッグ・特定健診・生活習慣病予防健診・定期健康診断・雇入時健康診断など、それぞれ必要な項目がセットとなっている健康診断のコースがあります。

オプション検査も追加可能で、健診者1人1人にあったコースで受けることができます。

健診終了後に、対象となる方には保健師による保健指導の実施や、検査項目によっては当院でも2次検査を行うことも可能です。



いつでも、お気軽にお問合せください。TEL 0995-45-3085



当院の食事への取り組み

当院では2月より調味料である「砂糖」の使用を中止しました！

皆さん、「ブドウ糖スパイク」ってご存知ですか？

「ブドウ糖スパイク」とは食後1～2時間で高血糖になり、その後もとに戻る状態のことをいいます。「糖質」を多く摂取することで「ブドウ糖スパイク」が頻繁に起こり、また繰り返されることで血管が傷つき、あらゆる病気を引き起こす原因になります。この「ブドウ糖スパイク」とは糖尿病の方に限らず、健常人にも起こります。

そこで、当院では糖尿病がある患者さんのみではなく、全ての患者さんに砂糖の使用を中止しようという取り組みを行っています。

砂糖の代わりの調味料って？

糖質ゼロの甘味料には、エリスリトール・ラカント・マービーなどがあります。今回当院で砂糖の代替として使用しているのが低カロリー甘味料の「マービー」です。

マービーの特徴としては…

① 砂糖と比較して優しい穏やかな甘さ

② 小腸で吸収されない

砂糖は100%小腸で消化吸収されるが、マービーは小腸で吸収されないため血糖値への影響が少ない。

③ 料理に使いやすい

食品添加物が含まれておらず、加熱しても苦味などなく素材の風味を損なわない。



「マービー」は血糖値の影響が少ないかつ、素材の風味を損なわないという点から、1日の目安摂取量内であれば、安全でおいしい治療食が提供できると考えました。

「マービー」を使用したメインのおかず



鶏肉のチーズのせ焼き



あじのごまだれ焼き



鯖のネギ味噌焼き

高 | 齡 | 者 在 | 宅 | 救 | 急

慢性期救急担当
救命救急士
木佐木 勝



国分中央病院では高齢者施設・診療所・病院からの急患を受け入れる病院救急車を令和2年8月17日から運行し、高齢者におきがちな食欲不振・脱水・慢性心不全・呼吸不全・糖尿病・認知症や、日常生活の着替え・入浴・歩行や動作、トイレに時間がかかる又は出来なくなったなどの症状に、迅速に対応させて頂いております。

病院救急車を運行するにあたり、高齢者施設、診療所、病院から国分中央病院への搬送と、国分中央病院から他の病院への転院搬送を行うことで市の救急車の負担軽減にも貢献できるものと思います。

高齢化社会の中、慢性期病院の役割が重要であり、在宅・救急・期救急医療と二次救急医療の繋がり、施設や在宅医療の連携不足など高齢者救急の課題は山積していますが、お互いに歩み寄り、地域医療を盛り上げ、役割の分担を明確に行い、連携の取れた地域医療を進めて安心安全の町づくりを目指して頂ければと思います。

また、国分中央病院では霧島市民に必要とされるよう、医師・看護師を始めとした多職種の知識を駆使して、患者さんの持つ複数の疾患・社会的背景・生活面などを考慮しながら治療を行っております。また、慢性期病院の役割である早期リハビリに取り組み、患者様を一日でも早く日常に帰す医療の提供も病院の使命でもありと考えております。



CO2 ガスレーザー

[炭酸ガスレーザー]

治療について

波長 10,600nm の赤外線領域の光を発する水に反応する特長のあるレーザーで、ホクロや脂漏性角化症等のイボ、さらに盛り上がりのあるシミの除去に有効です。

照射しても深部組織や周辺の正常な皮膚にはダメージを与えないため、メスで切除した場合よりもキズ跡が残りやすく、治りが早いのが特徴です。治療の際は痛みや出血もほとんどありません。

CO2（炭酸ガス）レーザーなら短時間に治療ができ、メスを使用する治療と比べ出血もほぼないため仕上がりがきれいで、安心してお受けいただけます。また、治療跡も目立ちにくく、除去後のお顔の印象がスッキリします。

国分中央病院では、毎週火曜日（祝日除く）に鹿児島大学皮膚科学教室の皮膚科専門医が、ほくろ・しみ・いぼ等のお肌のご相談と、きめ細やかな治療を行っております。

鹿児島大学
皮膚科学教室
医局長
皮膚科専門医
多田 浩一



私たちが皆様のお肌をサポートいたします！



CO2 Esprit (CO2 エスプリ)



CO2レーザー施行前

施行後

費用につきましては
外来スタッフまで
お気軽にどうぞ！

通所リハビリ
理学療法士
樺木野 龍一



国分中央 通所リハビリ（デイケア）

当院、通所リハビリでは、セラピスト（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）による利用者様の個別性に特化したリハビリテーションの他、4種類のマシントレーニング・物理療法・机上での脳トレ課題など実施しております。

また、屋外での歩行も積極的に行っております。



コロナウイルスの蔓延により、積極的な屋外での活動が行うことが難しい時期がりましたが、3月8日より、屋外でのリハビリも再開いたしました。

コロナウイルスの影響により初詣を行えていない利用者様が多く、鹿児島神宮での屋外リハビリを行いました。鹿児島神宮内は、砂利道であり屋内での歩行よりも難易度が上がるのですが、皆さん、屋外での活動へのモチベーションが高く、屋内では見られないような力を発揮されています。



美崎会グループのご紹介



国分中央病院

〒899-4332 鹿児島県霧島市
国分中央1丁目25番70号

TEL.0995-45-3085



サービス付き高齢者向け住宅 メディカーサ国分中央

〒899-4332 鹿児島県霧島市
国分中央1丁目25番51号

TEL.0995-73-7111



地域密着型特別養護老人ホーム ソ・ウェルこくぶちゅうおう

〒899-4332 鹿児島県霧島市
国分中央3丁目12番29号

TEL.0995-73-8300

美崎会グループのWebサイトは下記よりご覧ください

<http://www.misakikai.or.jp/>



開放型登録医院の紹介

医療法人美崎会 国分中央病院では地域の医療機関との連携を働き、患者さまへ、さらに快適な医療サービスの提供を目指しています。

【国分】

みみ・はな・のどとしクリニック
 梶原内科
 原口耳鼻咽喉科
 渡辺眼科クリニック
 江口整形外科
 うえぞの内科クリニック
 帖佐クリニック
 いぢち眼科
 原口内科消化器科
 青葉クリニック
 三輪クリニック

とくしげ耳鼻咽喉科
 プライマリ・ケアむろ内科
 かのう医院
 はやし内科クリニック
 【隼人町】
 島田泌尿器科医院
 吉満内科クリニック
 整形外科酒匂クリニック
 はやと整形外科
 隼人クリニック
 山下内科クリニック
 森クリニック呼吸器科・内科

永田医院
 吉玉リウマチ・内科クリニック
 八反田内科
 【その他のエリア】
 八木クリニック (福山町)
 伊東内科クリニック (横川町)
 佐藤医院 (溝辺町)
 壺岐医院 (溝辺町)
 竹田医院 (霧島町)
 春田医院 (牧園町)
 ひらしまクリニック (湧水町)